

乳腺・内分泌外科 *Breast and Thyroid Surgery*

1. スタッフ構成

○佐川 庸(副院長)

1983年愛媛大学医学部卒

専門分野:乳腺・甲状腺

資格:日本外科学会外科専門医・指導医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本内分泌外科学会内分泌外科専門医・指導医、日本甲状腺学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○松岡 欣也(主任部長、がん治療センター副センター長、がんゲノム室長)

1995年岡山大学医学部卒

専門分野:乳腺・甲状腺

資格:日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本内分泌外科学会内分泌外科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○畑地 登志子(部長)

2005年愛媛大学医学部卒

専門分野:乳腺・甲状腺

資格:日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医、厚生労働省臨床研修指導医

○宮崎 一恵(副医長)

2013年川崎医科大学卒

専門分野:乳腺・甲状腺

資格:日本外科学会外科専門医、日本乳癌学会乳腺専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診マンモグラフィ読影認定医

2. 実績

■ 疾患別手術件数

疾患名	症例数
乳癌	152
甲状腺・副甲状腺	88

■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
乳癌(再発、化学療法症例を含む)	242
乳腺良性疾患	5
甲状腺癌	39
甲状腺腫瘍(リンパ腫を含む)	20
バセドウ病	11
副甲状腺疾患	18
合計	335

■ 全死亡例およびその死因

病名	死因
乳癌	乳癌脳転移
乳癌	がん性胸膜炎
甲状腺未分化癌	局所進行
乳癌	多発転移
乳癌	多発転移
甲状腺未分化癌	局所進行
合計	6例

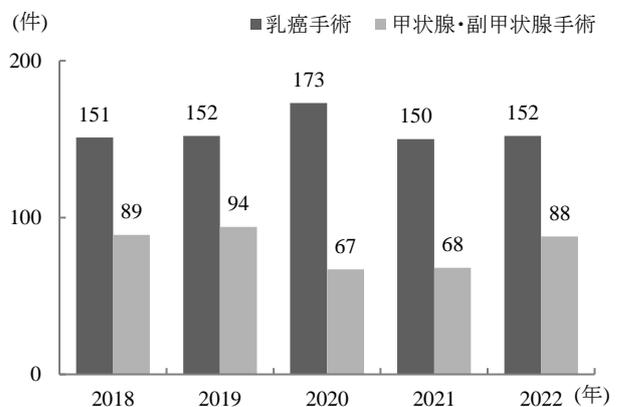
■ 検査件数

検査名	症例数
乳腺・甲状腺超音波検査	3,487
マンモグラフィ	2,655

■ 手術件数

手術名	症例数
甲状腺腫瘍摘出術	20
甲状腺悪性腫瘍手術	39
バセドウ病に対する甲状腺亜全摘術	11
上皮小体手術	18
乳房温存術	87
乳房切除術	65
センチネルリンパ節生検	123

■ 手術症例数の推移



■ 臨床評価指標

評価指標	患者数
乳房温存率	57%
乳房温存術が行われた患者数	87
乳癌手術を受けた全患者数	152
センチネルリンパ節生検施行率	81%
センチネルリンパ節生検が行われた患者数	123
局所進行乳癌に対する治療順序	
全身化学療法が最初に行われていて、次に手術、放射線治療が行われた患者数	19
stageIIIB、IIIC の乳癌患者数	13
術後断端陰性確保	
追加切除かブースト照射が行われた患者数	12

3. 2023 年度目標

- (1) 「乳腺・内分泌外科」の標榜で乳腺甲状腺外科診療を行っており、毎日 2 診体制として、迅速な診断⇒治療に努めています。引き続き良質な医療提供に専心し、心の拠り所となる診療科を目指します。
- (2) 乳癌学会・内分泌外科学会認定施設としての役割を果たします。
- (3) 地域の先生方とより一層の病診連携を深め、担当領域において、より信頼される診療科を目指します。
- (4) 女性医師・女性技師・乳がん看護認定看護師・臨床心理士および理学療法士とのチーム医療で、身体的・精神的なサポート等も含め、よりきめ細かい診療の提供を心がけます。
- (5) HBOC に対する遺伝子検査と結果に基づいた適切なアセスメントを行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 畑地登志子、宮崎一恵、松岡欣也、佐川庸。小児甲状腺乳頭癌の 1 例。第 50 回中国四国甲状腺外科研究会。高松 (2022.2.5)
2. 畑地登志子、宮崎一恵、松岡欣也、佐川庸、前田智治、杉田敦郎、木藤克己。豊胸術後に発症した高齢者乳癌の 1 例。第 74 回愛媛乳癌疾患懇話会。松山 (2022.5.28)
3. 松岡欣也、佐川庸、畑地登志子、宮崎一恵、前田智治、杉田敦郎、木藤克己。原発性副甲状腺機能亢進症に合併した頸部気管支原性嚢胞の 1 例。第 34 回日本内分泌外科学会総会。つくば (2022.6.23-25)
4. 佐川庸、松岡欣也、畑地登志子、宮崎一恵。γ ナイフおよび抗 HER 薬による病勢制御後、無治療継続中の HER2 陽性乳癌脳転移の 1 例。第 30 回日本乳癌学会総会。横浜 (2022.6.30-7.2)
5. 松岡欣也、佐川庸、畑地登志子、宮崎一恵。当院における Trastuzumab、Pertuzumab、Docetaxel による術前術後化学療法の検討。第 30 回日本乳癌学会総会。横浜 (2022.6.30-7.2)
6. 畑地登志子、宮崎一恵、松岡欣也、佐川庸。DTX・Tmab・Pmab 療法中に Stevens-Johnson 症候群を発症した再発乳癌の 1 例。第 30 回日本乳癌学会学術総会。横浜 (2022.6.30-7.2)
7. 宇田可奈、佐川庸、松岡欣也、畑地登志子、前田智治、杉田敦郎、木藤克己、井上博道。乳頭内に限局した非浸潤性乳管癌の 1 例。第 74 回愛媛外科会総会。松山 (2022.8.6)
8. 松岡欣也、佐川庸、畑地登志子、宮崎一恵。当院における転移・再発乳癌に対する Trastuzumab+Pertuzumab+Docetaxel 療法の治療経験。第 19 回日本乳癌学会中国四国地方会。高知 (2022.9.23-24)
9. 畑地登志子、宮崎一恵、松岡欣也、佐川庸。当科における BRAC Analysis 検査の現状。第 19 回日本乳癌学会中国四国地方会。高知 (2022.9.23-24)

10. 畑地登志子、松岡欣也、佐川庸、三好幸代、石田也寸志、塩崎愛。患者、母にコンサルテーション・リエゾンが必要であった乳癌の 1 例。第 75 回愛媛乳癌疾患懇話会。松山 (2022.10.15)
11. 佐川庸、松岡欣也、畑地登志子、宮崎一恵。がん診療専門病院からの紹介例より見た医療連携の現状。第 60 回全国自治体病院学会。那覇 (2022.11.10-11)
12. 佐川庸、松岡欣也、畑地登志子、宮崎一恵。総合病院甲状腺外科における合併症の変遷と現状。第 84 回日本臨床外科学会総会。福岡 (2022.11.24-26)

(2) 論文・著書

1. 松岡欣也、佐川庸、畑地登志子、宮崎一恵、前田智治、杉田敦郎、木藤克己。巨大肺転移を有する甲状腺乳頭癌に対して肺切除後にレンパチニブを投与した 1 例。日本内分泌外科学会雑誌 39(3)。210-214 (2022.9)